

うか。

答 本年5月末の同意率は82%であった。最終期限の8月末まで努力する。

飛田常年（市政クラブ）

蒲郡民成工業用地の現況について

問 本年1月より発売を開始しているが、決定に至っていない。現況はどのようなか。

答 1月13日から2月20日まで公募を行った。正式な申し込みはないが、問い合わせ7件、現地案内2件。西側部分は市内企業か



蒲郡民成工業用地

ら金融機関を通して要望があり、この数日の間に2件の問い合わせがあった。

柑橘（蒲郡みかん）への産業支援

問 柑橘を産地化する品種選定のための「柑橘新品種商品化支援事業」の今後の取り組みについて伺う。

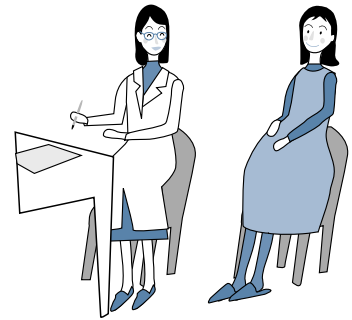
答 若い農業者を中心に5品種に絞り込んだ。今後3年間で委託業者を通じて商品化、産地化の方向性が見出せるようにしたい。

松本昌成（公明党）

不妊治療の助成の導入は

問 県では今年の7月より、一般不妊治療に対する県独自の助成制度を導入する。本市の今後の不妊治療の助成について伺う。

答 県の制度に沿った形で導入に向け検討している。制度導入に関しては、9月議会で補正予算を出し、県に合わせるため、遡及して適用する形をとりたい。



年金記録問題への対応は

問 本市における、年金記録問題への対応について伺う。

答 直接関与している問題ではないが窓口を設けて年金相談を行っている。現在でも昭和36年から平成13年までの記録は保存しており、社会保険庁からの照会があれば協力していく。

大竹利信（公明党）

災害時における情報の発信体制は

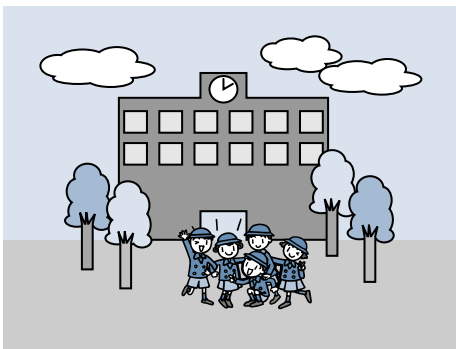
問 災害時の住民への情報発信体制における今後取り組みについて伺う。

答 今年度から屋内で同報無線が聞ける防災行政ラジオの販売を始めた。また、全国瞬時警報システムや衛星携帯電話を導入する。県の地上デジタル放送を活用した災害情報提供に関する研究会に参加している。

スクールガードについて

問 各小学校校区に組織された学校ボランティア「スクールガード」の活動を継続、発展させるための今後の取り組みを伺う。

答 学校とスクールガードとの情報交換を密にする活動をしていきたい。ま



た、防犯訓練等に参加していただき、意識向上を図る。

喚田孝博（市政クラブ）

特定健康診査・特定健診保健指導

問 来年度より40歳から74歳までの人を対象に実施が義務付けられた。市の対応について伺う。

答 多くの健診対象の方に受けていただくことが重要であり、そのための効果的な方策・周知方法を見つけ出すことが最大の課題。健診がスムーズに実施できるように計画策定に取り組む。

市民公募まちづくり事業（まちづくり基金創設）

問 市民・企業からの寄付金額と同等を市も拠出して積み立てるまちづくり基金への市の考えを伺う。

答 市民からの寄付額に即対応する制度の導入だけでなく市がどう支援できるかなど、もう少し広い部分も含め、可能性を推進協議会で研究していきたい。